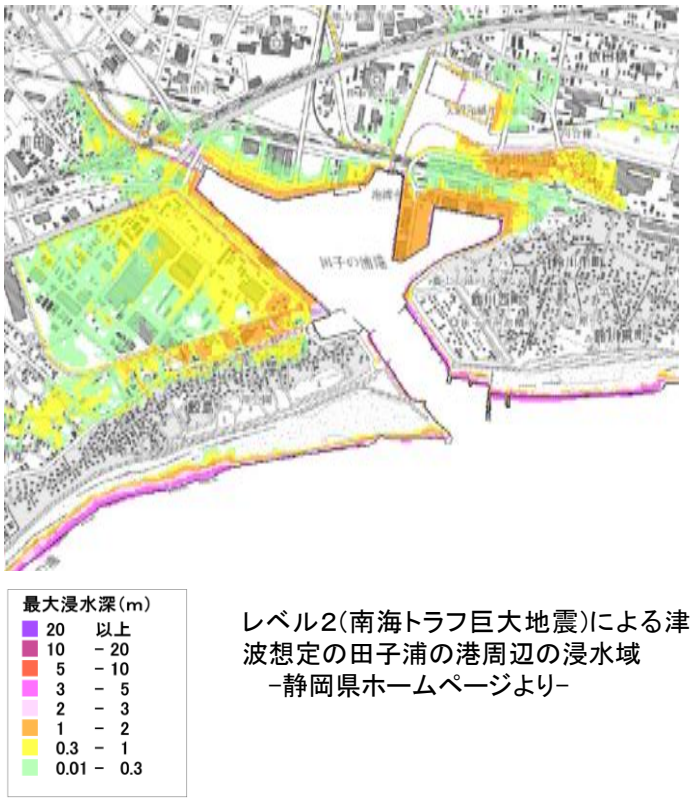
富士市議会議員 太田やすひこ 議会レポート
平成 26 年 No.14-01

田子の浦港の防災対策

平成２６年６月定例市議会において、６月補正予算が決まりました。

「田子の浦港周辺津波対策防護ラインの検討」として、１０，０００千円が計上されました。その内容は次の通りです。

- ○田子の浦港周辺の津波挙動解析
- ○河川の津波遡上解析
- ○港内周辺の浸水エリアをなくすための津波防護ラインの設定と必要津波防護壁高を設定



レベル2(南海トラフ巨大地震)による津波想定の田子浦の港周辺の浸水域
-静岡県ホームページより-

東日本大震災以降、津波に対する防災体制の整備、あるいは津波高の想定と浸水域について研究が重ねられてきました。

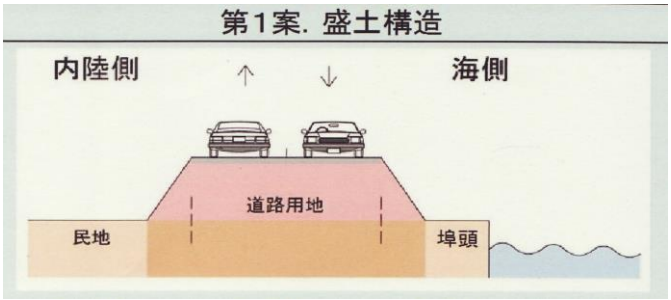
平成２５年６月に公表された「静岡県第４次地震被害想定」では、南海トラフ巨大地震を想定してのレベル２の地震による津波浸水域が示されました。

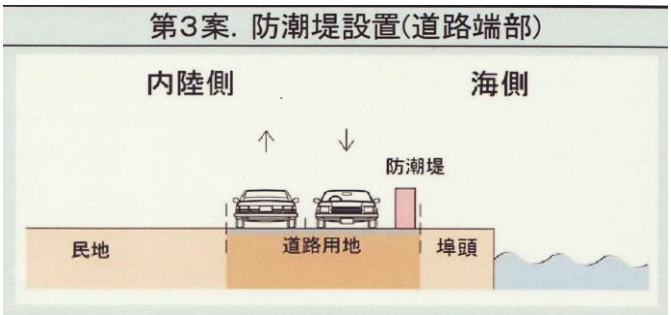
富士市では、海岸線は高さ１７ｍの防潮堤により守られることから、田子の浦港からの津波浸水対策が課題となっています。

田子の浦港振興ビジョン推進協議会の第１回全体会議が５月１９日に開催されました。

防災部会においては、津波防護ラインを築く方法として、富士埠頭周辺の浸水対策検討に４案の道路構造が示されています。

港湾周辺に津波防護ラインが設けられることにより、田子の浦港周辺に立地する企業群の事業継続性は格段に高まり、新規の設備投資も期待されます。そして、そこに従事する市民の安全、安心も確保されることになります。





上図の他、第2案.防潮堤設置(内陸側民地)
第4案.防潮堤設置(海側端部)が示される。

太田やすひこホームページ アドレス http://web.thn.jp/ootayasuhiko/ メールアドレス: ohysty@thn.ne.jp

発 行：太田やすひこ後援会
会長 諸星 秀一
住 所：富士市錦町１丁目９番５号
（TEL）0545-53-2148

富士市議会議員 太田康彦
所属委員会 総務市民委員会 委員
議会運営委員会 副委員長
議会改革検討委員会 委員